



THE 69th
JAPAN TRADITIONAL
Kōgei EXHIBITION

第69回

日本伝統工芸展

2022年

12月7日[水] - 25日[日] 会期中無休

[開館時間] 10時-18時30分(展示室への入場は18時まで)

主催: 島根県、島根県立美術館、島根県教育委員会、公益財団法人しまね文化振興財団

NHK松江放送局、朝日新聞社、山陰中央新報社、公益社団法人日本工芸会、SPSしまねグループ

後援: 鳥取県、鳥取県教育委員会、公益財団法人しまね産業振興財団



山陰在住入選作家	濱田 幸介(松江市)
内田 和秀(松江市)	福井 禎(倉吉市)
門脇 盛人(安来市)	重要無形文化財保持者
川邊 雅規(出雲市)	前田 昭博(鳥取市)
坂本 章(鳥取市)	松本 三千子(松江市)
高橋 香葉(松江市)	村山 創達(松江市)
永田 佳子(安来市)	森 和之(鳥取市)



日本伝統工芸展は、工芸界最大規模の公募展として知られ、日本の優れた工芸技術の保護育成を目的に、昭和29年以来毎年開催されてきました。陶芸・染織・漆芸・金工・木竹工・人形・諸工芸の7部門から、厳正な審査を通過した作品が全国で展覧されます。松江展では、入選作全558点の中から、重要無形文化財保持者(人間国宝)の作品40点をはじめ、受賞作16点、地元山陰在住作家の入選作12点を含む271点を展示いたします。

記念講演会 聴講無料

日時: 12月11日(日) 13時30分から(13時開場/約60分)
講師: 小宮 康正

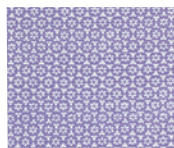
[染織作家、重要無形文化財「江戸小紋」保持者(人間国宝)]

演題: 「受け継ぎ伝える」

会場: 美術館ホール(190席/当日先着順)

[小宮 康正(こみや やすまさ)] 1956年東京都葛飾区に江戸小紋の重要無形文化財保持者・小宮康孝の長男として生まれ、1972年より父のもとで修業を始める。1980年第27回日本伝統工芸展初入選。以後、1983年同第30回展にて文部大臣賞、2006年同第53回展にて高松宮記念賞を受賞。また、1990年10周年記念特別ポーラ優秀賞、1994年第7回MOA岡田茂吉賞優秀賞を受賞。2010年紫綬褒章受章。2018年重要無形文化財保持者に認定。

※ホールでの講演終了後、企画展示室で小宮氏による染織部門の作品解説を行います。あわせてご参加ください。



江戸小紋脚組両面染羽尺「梨の切口」小宮 康正

ギャラリートーク (出品作家による各部門の展示作品解説) 要展覧会観覧料

- 日時: 12月10日(土)【木竹工】三浦 信一[日本工芸会正会員、本展第一次鑑査委員]
12月11日(日)【染織】小宮 康正[重要無形文化財保持者、本展第一次鑑査委員]
12月17日(土)【陶芸】隠崎 隆一[日本工芸会正会員、本展「文部科学大臣賞」受賞]
12月18日(日)【諸工芸】渡邊 明[日本工芸会理事、本展第一次鑑査委員]
(聞き手) 松本 三千子[日本工芸会正会員、本展第一次鑑査委員]
12月25日(日)【漆芸】金城 一國斎[日本工芸会理事]

各日14時から(ただし11日は講演会終了後) 会場: 企画展示室

地元作家トーク 要一部展覧会観覧料

日時: 12月24日(土) 14時から
講師: 【諸工芸】川邊 雅規[本展「日本工芸会新人賞」受賞(出雲市)]
会場: 美術館ロビー・企画展示室
そのほか、本展会期中「子ども体験・鑑賞コース」(講師: 高橋 幸治[日本工芸会研究会員])、「高校生講座」(講師: 濱田 幸介[日本工芸会正会員])などの育成事業も実施します。詳細は各対象校にご案内いたします。

観覧料

【オンラインチケット】ホームページにて11月7日より販売

- 一般 日本伝統工芸展500円
- 日本伝統工芸展・コレクション展セット650円

【当日券】

- 一般 日本伝統工芸展600(480)円
- 日本伝統工芸展・コレクション展セット750(600)円
- 大学生 日本伝統工芸展400(320)円
- 日本伝統工芸展・コレクション展セット500(400)円

高校生
以下無料

※日時指定不要 ※()内は20名以上の団体料金 ※身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳、被爆者健康手帳をお持ちの方、及びその付添の方は無料 ※ローンチケット/Lコード63565

こどもといっしょの優先時間 かぞくの時間

次回企画展予告
永田コレクションの全貌公開(一章)
北斎-「春朗期」・「宗理期」編
2023年2月3日(金)~3月26日(日)

【日時】毎日10:00~12:00 ※休館日を除く
【対象】10歳児からのお子様とその家族
【会場】コレクション展示室・企画展示室 ※閉室期間を除く
【内容】作品についてお子様とおはなしながら鑑賞いただけます。

- 交通案内**
- ・JR松江駅から徒歩約15分
 - ・JR松江駅から松江市営バス(南循環線内回り)6分
 - 「県立美術館前」下車
 - ・観光ループバス(レイクライン)
 - 「県立美術館前」下車
 - ・山陰道→松江西ランプから車で約5分
 - 国道9号袖師交差点南進(駐車場より地下道をご利用ください)
 - ※3時間まで無料



島根県立美術館 〒690-0049 鳥根県松江市袖師町1-5
TEL.0852-55-4700 FAX.0852-55-4714
https://www.shimane-art-museum.jp

状況によりイベントの内容等を変更する可能性があります。最新の情報はホームページをご確認ください。
[上段左枠内 左から時計回りに(以下同)]【染織】広瀬緋緒着物「天空海淵」永田 佳子、【漆芸】存清螺鈿箱「うつろう」高橋 香葉、【諸工芸】積層虹彩切子鉢「泡霞」渡邊 明 [上段右枠内]【漆芸】切金螺鈿箱「金城」一國斎、文部科学大臣賞【陶芸】備前白泥混濁花器 隠崎 隆一、【諸工芸】省胎七宝鉢「宙」松本 三千子、【陶芸】縹緋幾何文壺 内田 和秀、【木竹工】楊枝漆器 門脇 盛人 [下段左枠内]【木竹工】摩造拭漆鉢 濱田 幸介、【陶芸】白瓷面取壺 前田 昭博、【木竹工】神代楡嵌荘匣「雨飾」三浦 信一、【陶芸】青瓷掛分鉢 坂本 章、高松宮記念賞【漆芸】蒔絵箱「凛花」田中 義光 [下段右枠内]日本工芸会新人賞【諸工芸】硝子鶴首花入「凛然」川邊 雅規、【木竹工】松造拭漆盛器 村山 創進、【染織】木綿手紡緋着物「青庭」福井 祺、【陶芸】瑠璃釉壺 森 和之 [表面]日本工芸会総裁賞【木竹工】透網代花籠「朝露」河野 裕賢